釧路市立北中学校「学校だより」

北　魂

令和７年（2025年）２月17日発行　VOL 47

「目指す生徒の姿」はみんなのもの

釧路市立北中学校長　冨　田　直　樹

明日から１・２学年では最後の定期テストが行われます。生徒たちは２週間前から学習計画票を作成し、その計画に基づいて学習を進めてきました。そして、この期間の学級通信には、生徒たちの学習を応援する内容が多く掲載されています。その中で「なるほど」と思う内容は「マネジメント」についてです。各学級担任は定期テストに向けて、明確な目標を設定すること、その目標を実現するための取組を計画の中に位置付けることを粘り強く生徒たちに伝えています。定期テストという取組を、よい点数が取れた、前回のテストより点数が上がったなど、一喜一憂するイベントではなく、将来、生きていく上で必ず必要になる資質・能力を獲得するチャンスと捉えて生徒たちにメッセージをは発信し続けています。生徒たちの未来を見つめ、各種の取組を戦略的に進めてくれる本校の教師集団は本当に頼もしいと思います。

さて、本日の全校朝会において、次年度の本校が目指すゴール（目指す生徒の姿）を次のとおり全校生徒に紹介しました。

変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる生徒

そして、この「目指す生徒の姿」を実現するために獲得したい資質・能力として、

- 自分の課題や新たな可能性を、**当事者意識をもって発見する力**
- 自分の行動で、自分の周りをよりよい方向へ変えられる**自己効力感をもつ力**
- 変化の目的の意味や意義を見出し、**挑戦してやり抜く力**
- その目標を達成するために、**責任をもって行動する力**

の４つを位置付けました。

この「目指す生徒の姿」と「獲得したい資質・能力」は、昨年の12月に２学年の生徒と面談を行い、その際に「北中学校のよいところ」、「北中学校でどんな中学生になりたい」、「そのために必要な力」についてインタビューした内容で構成されています。生徒たちが自分たちの将来をしっかり見据え、そのために今、どのような力を身に付ける必要があるのか、しっかり考えながら学校生活を送っていることに感心しました。

この「北中学校として目指すゴール」は、生徒たちだけのものではありません。「目指す生徒の姿」の最後の「生徒」を、「教師」や「保護者」、「地域住民」に置き換えることもできます。以前もお伝えしましたが、北中学校は、みんなでつくる学校です。次年度、生徒、教職員、保護者、地域の皆さんでこのゴールを目指して共に取組を進めましょう。